

## 令和5年度 公正入札調査会議議事概要

開催日及び場所	令和6年 3月15日(金) 15:30～17:30 防衛省庁舎E1棟8階会議室		
委員	会長 楠 茂樹 (上智大学法学部国際関係法学科教授) 会長代理 中村 豪 (東京経済大学経済学部教授) 委員 川尻 恵理子 (ハロー法律事務所弁護士) (五十音順) 木下 誠也 (日本大学危機管理学部教授) 五艘 隆志 (東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科准教授)		
討議対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和5年12月31日		
討議対象件数	1,005件		
<b>1. 入札結果の事後的・統計的分析結果について</b>			
項目	建設工事、建設技術業務について		
意見・質問	回 答		
○ 特になし。			
報告事項	特になし。		

<b>2. 談合疑義案件の処理状況について</b>			
項目	工 事	業 務	談合疑義案件報告数
談合情報	0 件	0 件	0 件
点検結果疑義	0 件	0 件	0 件
意見・質問	回 答		
	○ 報告案件なし。		
報告事項	特になし。		

<b>3. その他</b>	
項目	(1) 地方防衛局の入札監視委員会における共通意見・提言等の報告 (2) 不調・不成立の対応に関する分析・報告について
意見・質問	回 答

<p><b>(1) 地方防衛局の入札監視委員会における共通意見・提言等の報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 落札率がかなり低い業務があるが、予定価格と業者の応札額に差が出たのは積算の考え方に相違があったのか。</li> <li>○ 低価格入札については、成果品に問題がないかをしっかりフォローされたい。</li> </ul> <p><b>(2) 不調・不成立の対応に関する分析・報告について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 担い手・技術者不足、積算乖離の対策が重要である。技術者不足については、IT技術を活用し弾力的に対応していく必要がある。積算乖離については、見積活用を積極的に適用されたい。</li> <li>○ 工事に当たっては、スケジュールのみを優先することなく、品質をしっかり確保されたい。</li> <li>○ 大型事業が増えて不調不成立が多くなっているようだが、発注に当たり工夫していることはあるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低入札価格調査対象外の価格競争であり、入札参加者の応札額にばらつきがあった。落札した者は、現場から近いことやこれまでのノウハウで効率的に実施できるとして、低価格で応札したものである。</li> <li>○ 低価格入札の案件については、注視していきたい。</li> <li>○ 他省庁の動向を確認しながら、IT技術の活用、見積活用の適用を積極的に進めていきたい。</li> <li>○ スケジュールと品質確保を両立しながら進めてまいりたい。最適化事業については、4週8休、4週8閉所を前提にスケジュールを設定していく。</li> <li>○ 技術者不足対策として、令和5年度はロットをある程度大きくして発注している。入札結果、参加状況や建設業界の動向を踏まえバランスよくロットを組んでいきたい。</li> </ul>
<p>報告事項</p>	<p>特になし。</p>